



香川県立香川東部養護学校

人権・同和教育部

高等部主事 酒井 美和



「平和学習」

6月から9月にかけてLHRの時間や生活単元学習などの時間を使って、今年度も人権学習を実施しました。今年度のテーマは「平和について」です。私たちは日々の生活を、当たり前のように送ることができています。しかし一方で、ロシア・ウクライナ戦争の悲惨な状況が新聞やテレビで毎日のように報道されています。また、世界各国で、紛争や武力衝突など、きな臭い動きがあります。日本の近くの国が軍事演習やミサイル発射実験などを行っていることが頻繁に報道されています。戦争は、重大な人権侵害です。何の落ち度も、罪もない人々の日常生活を奪ってしまいます。日常生活だけでなく、命も奪ってしまいます。高等部の生徒との会話の中で、ロシア・ウクライナ戦争を話題にしたことがありました。「ニュースで見るけど、怖いです。」や「いつもの生活ができなくなるから、嫌です。」「なんで、あんなことするんやろ。」などの言葉が聞かれました。無関心なわけではなく、自分の事として考えるのは難しいですが、戦争はいけないことと理解しているようでした。

高等部の人権学習では、ロシア・ウクライナ戦争を題材にした学級もあれば、戦争を題材にした絵本を使って学習した学級、いろいろな価値観があるということを題材にした絵本を使って学習した学級、それぞれの学級の実態に応じて取り組みました。このような学習をとおして、今の自分にできることを考え、「戦争はダメ。」「戦争は、みんなと一緒に生活できなくなるから嫌です。」「人を傷つけるような言葉を言いません。」など、様々な考えをもつことができました。

人権学習で学んだことを忘れずに、家族や友達を思いやり、それぞれの考えを尊重し、認め合うことができる人になってほしいと願っています。これからも、様々な場面を通じて学習を進めていきたいと考えています。

今回の人権・同和教育だよりには、人権学習の様子を掲載しています。ご家庭でも、学習の様子を見ながら、「平和とは」「思いやりとは」などについて、話し合っただけたらと思います。

平和学習おすすめの絵本

(※絵本の表紙掲載については、出版社の許可を得ています。)



『わたしの「やめて」』

文：自由と平和のための
京大有志の会

絵：塚本 やすし
朝日新聞出版

「戦争とは何か…」を静かに語りかける、親子で戦争と平和、命の重みについて考える絵本です。



『へいわってすてきだね』

詩：安里 有生
画：長谷川義史
ブロンズ新社

へいわってなにかな。ずっとへいわがつづくように、ばくも、ばくのできることからがんばるよ。

6月に紹介させていただいた絵本とあわせて4冊を平和学習の教材として使しました。他にもいろいろな絵本を使用しています。本校の図書室にありますので、ぜひ手に取ってお読みください。

人権学習について

7月から9月にかけて人権学習を行いました。その内容をお知らせします。

小学部

平和と戦争について学習しました。「平和の自分・戦争中の自分」を比べることは難しいですが、いさかいが争いの元になることから、仲良くするにはどうしたらよいか、相手の気持ちを考えました。戦争になると笑顔が消えてしまうことや平和の大切さについて、それぞれの学年で学びを深めることができました。

1年 <u>みんななかよし せかいもなかよし</u> 「戦争」について学習しました。『へいわとせんそう』の絵本から見開きのイラストを比べ、好きな方を指さすよう促すと、全員が平和の方のイラストを選べたことにびっくり!!自分達の行動もイラストを見て振り返ることができました。直接戦争について考えることは難しいけれど、戦争は嫌だという思いと、友達や家族と仲良くすることやみんながいつも笑顔でいることが世界の平和につながっていくことが子ども達に伝わり、うれしく感じました。	
2年 <u>ともだちと なかよくする ことばをしよう～おひさまとおつきさまのけんか～</u> おひさまとおつきさまの表情が「笑顔」や「怒った顔」へ変わるときに興味をもって、話を聞くことができました。「おひさまと仲直りするために、おつきさまは何と言ったらいいかな?」という問いに対し、提示されたイラストを見ながら「ごめんなさい。っていう」と、謝ることが大切だと発表する児童もいました。相手の気持ちを考えることは難しいものの、けんかは良くないことや、みんなが仲良くすることが大切ということを知ることができた。1時間になりました。	
3年 <u>きもちをつたえる だいじなことば～「ありがとう」と「ごめんなさい」～</u> 絵本のシンプルな絵から「平和や戦争」に対して児童なりの捉え方ができました。相手と仲良くなるためには感謝や謝罪など気持ちを伝えることが重要だとする動画を視聴し、具体的な場面での表現を練習しました。授業だけに限らず、児童の日常における様々な相手とのやりとりを注意深く見て、タイミングを逃さずに感謝を伝えたり、素直に謝ったりすることの尊さを、今後も周囲の大人が評価し続けていきたいです。	
4年 <u>戦争と平和を考えよう</u> 「戦争」という言葉を聞いて、どの児童も「分からない」との返事でした。初めて聞く「戦争」と「平和」についての話に、みんなとても集中してテレビの画面を見ながら学習することができました。みんなが仲よくすること、みんながいつも笑顔でいることが平和につながっていくんだということを何となく理解することができ、「平和最高」との発言も飛び出しました。最後のワークシートでは、全員が好きな表情として笑顔を書くことができました。	
5年 <u>へいわってすてきだね</u> 「平和って何だろう」今まで考えたこともなかった問いかけに、どの児童も答えられませんでした。戦争で破壊された建物や泣いている映像を見ると「悲しい」「怖い」などのつぶやきがあり、「戦争」は恐ろしいことだと感じとることはできていました。現在「平和」だから、楽しい日常生活を過ごすことができていることを知るために、平和の木を作りました。「好きなカレーライスが食べられること」「友達と遊ぶことができること」など何気ない幸せをたくさん書くことができました。	
6年 <u>自分たちにできることは何か ～平和について考えよう～</u> 絵本の読み聞かせでは、画面に注目し、話を聞くことができました。ロシアとウクライナが戦争をしていることを知っている児童もあり、それぞれの国の地図を見て「ロシアは大きいのに、小さいウクライナと戦争をしている」と発言する児童もいました。自分にできることを考える場面では、自分で考えることが難しい児童がほとんどでしたが、選択肢を設けることで自分のできることを選んで、カードに書くことができました。	

中学部

中学部では、平和の大切さについて学習を深めることを目標に、それぞれの学級に応じたテーマを選んで人権学習を行いました。

1年1組 <u>ウクライナの問題から平和と戦争について考えよう</u> 「戦争はいけない」という単純な回答に終わるのではなく、ウクライナという国の歴史やロシアがウクライナを攻撃している理由についても考えました。動画や資料を見て、真剣に考えたり発表したりできました。平和のためにできることは？という質問に対して、生徒から「国と国で話し合いをする」「暴力で解決しない」などの意見が出ました。	
1年2組 <u>平和ってすてきなこと！～平和のために自分たちにできること～</u> 「へいわ」と「せんそう」や「みかた」と「てき」のイラストを対比することで、現在の私たちの生活は「平和」と似ていること、味方でも、敵でも同じ人間同士であり、大事な人がいて、守るべき生活があることに気付くことができました。また、自分にできることとして、仲良くすること、相手のことを思いやること等の意見を出すことができました。	
1年3組 <u>自分たちが平和のためにできること</u> 絵本『わたしの「やめて」』をはじめに読みました。暗い戦争の場面を全員が真剣に見ました。読んだ後に平和のために何ができるか聞くと、「ありがとう」といういいなどたくさんの意見が出ました。次の絵本『はいどうぞ』では、譲り合いの気持ちについて話し、「はいどうぞ」や「ありがとう」と言いながらボールなどを譲り合う活動をしました。学級全体が温かい雰囲気になれ笑顔で学習を終えました。	
2年1組 <u>平和と戦争について考えよう</u> 全員が、ロシアとウクライナの戦争についての知識があり、関心をもっています。今回、絵本『へいわとせんそう』などを視聴し、平和の大切さを考え、真剣に意見を交わすことができました。何かをきっかけに敵・味方になってしまう人間関係を、自分達のことに置き換え、日々の関わり方や付き合い方につなげ、どうあるべきかを考えることができました。	
2年2組 <u>平和について考えよう</u> 『かわいそうなぞう』を読み、象が死ななければならなかった理由や平和の大切さを考えることができました。戦争は心も体も傷付くこと、とても悲しい気持ちになること、平和は勉強したり遊んだりでき、笑顔になることだという考えが出ました。争いが起きないようにするためにはどうすればよいか一人一人が考え、発表することができました。	
2年3組 <u>へいわってすてきだね</u> いつも平和な2年3組。『へいわってすてきだね』や『しあわせ』の絵本を一緒に見ながら、毎日の家庭や学校での平和な生活について実感し、家族や友だちに感謝をしました。ボウリングや輪投げ、黒ひげゲームをして、仲良く遊びました。折り紙で折ったどんぐりに、自分の得意な方法で模様をつけて、台紙に貼りました。3人で「へいわ」の字を分担して、筆でタイトルをつけました。3人で協力して楽しみながら、一枚の作品として仕上げることができました。	
3年1組 <u>平和について考えよう ～へいわってすてきだね～</u> ウクライナの戦争等の画像を見て、戦争が日常生活の幸せを奪うことを実感しました。絵本『へいわってすてきだね』や、子ども代表による「平和への誓い」（原爆の日）を題材に、自分が「幸せだ、楽しい」と思う出来事は、「平和」な状況の中で成り立っていることや、自分たちにできる「平和」につながる行動について考えることができました。	
3年2組 <u>へいわってすてきだね</u> 絵本『へいわってすてきだね』を題材に、平和とは何か、そのために自分ができることは何かについて考えました。特別なことはできないけれど、家族や友達と毎日笑顔で過ごすことができていくことが平和なことだと知りました。今ある生活に感謝し、日々の生活を大切にすることが自分にできることだと、改めて考える機会になりました。	

高等部

高等部では、みんな違いがあり、それをお互いに尊重し合うことの大切さを知り、仲良くしていくことが平和な世の中を作る土台になることを学習したり、世界で起きている出来事に関心をもち、自分にできることは何かについて考える学習をしたりしました。

1年1組 戦争と平和について

7月に行った人権学習では、戦争と平和について考えました。視聴した動画の中で「平和への誓い」を伝え終えた少女が、「まずは自分の周りの人を幸せにしていけることが、日本や世界を平和にしていける第一歩だと思う。」と話していた言葉を取り上げ、まずは自分が今できることを考えました。「困っている人を助ける」、「友達に優しくする」など身近なことから自分ができるとして考えることができました。9月には現在も続いているウクライナとロシアの戦争についての新聞記事を見て、身近にできることとは「協力」「助け合い」「優しさ」「笑顔」「努力」と発表しました。平和につながるためにできることを、毎日のなかからつなげてほしいです。



1年2組 絵本『わたしの「やめて」』を読んで

戦争と平和について考えました。初めに絵本を読んだ後、ウクライナとロシアの戦争についての話をしました。絵本や写真を見て、表情が変わる生徒もいました。戦争について、「したらいけないこと」「怖い」「関係のない人まで犠牲になってしまう」など、様々な意見が出てきました。話を進めていくなかで、ウクライナとロシアの戦争は現在進行形で起きていることであり、その怖さを強く感じているようでした。今の自分にできることは小さいことかもしれないけれど、当たり前前の日常をあっという間に奪ってしまう戦争が早く終わってほしいという話が出てきました。普段の生活でも、暴力ではなく言葉で話し合っ解決し、お互いを理解して学校生活を過ごしてほしいです。



1年3組 絵本『グーチョキパー』を読んで

「じゃんけんぽん!」とグー、チョキ、パーを出したり、グーチョキパーのカードを出したりしてじゃんけんをしました。お互いに勝ったり、負けたりじゃんけんを楽しんだ後、絵本の『グーチョキパー』をテレビに映しながら指導者が音読すると、興味深そうな様子で聞いていました。次に、生徒それぞれの好きなものを画像で出し、「これが好きなのは誰。」と聞くと「はい。」と返事をしたり、笑顔で挙手をしたりしました。好きなものがそれぞれ違うことに気付きました。人はみんなそれぞれ違うということやお互いを認め合うことの大切さについて学びました。



2年1組 『わたしの「やめて」』を読んで

絵本を通じて、戦争と平和について考えました。戦争で傷ついた人が出てくる場面では、「嫌だ」「こんなの見たくない」という声も聞かれましたが、最後まで真剣に読むことができました。そして、①戦争とは何か、②どうして戦争は起こるのか、③戦争と平和の違い、④平和のために自分ができることについて考え、意見を交わしました。どの問いかけにも積極的に意見が出て、「絶対に戦争は嫌だ」、「戦争は起こってほしくない」という気持ちを強くもつことができました。この気持ちを忘れずに、まずは自分と周りの人との違いを認め、相手を思いやり、大切にできる人でいてほしいです。



2年2組 『わたしの「やめて」』を読んで

戦争と平和について絵本を通して学習しました。1人ずつ読んでもらい、戦争が起こると生活はどうなるかということを考え、意見を出し合いました。真剣な表情で授業を受け、「人を殺すのは善くない、傷つけるのも善くない」と口に出す生徒もいました。授業の最後には「いつか世界の人々が仲良く、助け合ったりする世界になってほしい」、「人の気持ちを分かって、傷つく言葉や行動はしないようにしたい」などの意見が出てきました。考えたこと感じたことを忘れず学校生活を過ごしてほしいです。



2年3組 『へいわとせんそう』を読んで

絵本をテレビ画面に大きく映し出し、戦争と平和について学習しました。この絵本は平和と戦争の違いを様々な人や場面から比べることができる教材です。平和の父と戦争の父のページを見比べたときにある生徒が、戦争の父が持っている鉄砲を指差して「ない」と口にしました。戦争に使う鉄砲が自分の父にはないものであることが分かり、それを表現することができました。今の自分（平和な自分）と戦争の自分とを比べて、戦争というものが起きると今の自分の生活が嫌な方になってしまうということが分かりました。



3年1組 戦争について考えよう

戦争とは何か、戦争が起きる原因とは何かを考える学習をしました。今、世界では戦争状態にある国々があります。そこでは何が起きているのか、当事者は何を感じているのかを、ドキュメンタリーの動画を見ながら考えました。また、戦争が起きると生活が一変することを知り、今の私たちの生活は基本的人権が尊重されているということを知りました。具体的に制限がかかった生活をイメージしながら、「戦争はよくない。」「自分だけではなく相手のことも考えられるようになりたい。」などの感想を発表することができました。



3年2組 『わたしの「やめて」』を読んで

戦争と平和について考える学習を『わたしの「やめて」』の絵本を通して行いました。絵や文の中で興味をもったページや印象的な言葉について一人一人が発表することができ、「戦争はいや。」「戦争は体験していないから分からない。」「やめてほしい。」「私はやめてって言える。」などの発言がありました。印象に残ったページを選び、そのページの文や言葉を書き写し、簡単な感想を書き加えて、掲示物を作成しました。感想や思いを発表し合ったり、掲示物に目を通したりすることで、互いの考えを共有することができました。



3年3組 『かわいそうなぞう』の紙芝居を見て

『かわいそうなぞう』の紙芝居を見て、戦争と平和について考えました。指導者の朗読をしっかりと聞くことができ、戦争が原因で動物園の象が死ぬということが分かりました。後日、『かわいそうなぞう』の動画を視聴し、戦争が罪もない動物たちを苦しめてきたことを再確認しました。戦争前は、動物園のぞうが楽しそうに曲芸をしたり、おいしそうに食事をしたりしていましたが、戦争終盤になると事態が一変。「戦争で爆弾が動物園に落ち、象が大暴れするかもしれないので殺さなければならない」という園長の話は、本当に悲しく、「戦争は許せない」ということを考えさせられました。



3年4組 『ともだちや』を読んで

訪問の学習の中で、『ともだちや』という絵本を読んで、人間関係の大切さを学習しました。友達になるために、お金を払ってもらう内容で、いくつかの種類の動物が出てきますが、最後には本当の友達を作ることができました。本当の友達になるためには、お金なんか必要じゃない!というオオカミの怒った様子を見て、お互いを理解することは損や得で考えることではないという大切なことを学習することができました。お互いを尊重して、大切に思うことで、心の通った本当の友達になれます。なかなか友達と触れ合うことが少ないので、校内の通学生のみなどいろいろな形で交流して、友だちをたくさん作りたいと思いました。



職員研修より

夏休みに、LGBT 等に関する職員研修を行いました。体の性、心の性、好きになる性、表現する性は多様でグラデーションです。これが普通、というものはありません。私たちが無意識にもっている思い込みや偏見（アンコンシャス・バイアス）から、知らないうちに相手を傷付けること（マイクロ・アグレッション）があります。また、性自認や性的指向などを本人の許可なく他人に暴露すること（アウティング）は、絶対にしてはいけないことを学びました。当事者の方から相談があった場合は、相談者にしっかりと寄り添い話を聞くこと（慌てず、急がず、大ごとにならない）



や、職員が正しい知識、理解をもっていることで救われる児童・生徒・保護者がいるということも学びました。

職員の感想には、「LGBT等に関わらず、物事は大多数の人の価値観（ものさし）ではかられることが多いように感じる。色々な生き方や価値観を認めてくれる社会になってほしい」や「人権について固定観念をもつことのないう意識していきたいし、柔軟な対応ができるよう見聞を広げたいと思った」、「「何に困っている」のか、知る・気づくことが基本なのかな、と思いました」などがありました。

主な相談窓口として、「プライド香川」（メール：info@proud-kagawa.org）や「あしたプロジェクト」（メール：ashipro.life@gmail.com）などを紹介してくれました。誰もが過ごしやすい学校、社会になることを目指して、自分たちの言葉や行動を見直していきたいと思いました。

トイレ・更衣室

トイレに行きたいのに、人目が気になって行くのを我慢したり、誰もいなくなるまで入れなくて悩む人がいます。

また、自分が望む性別の更衣室で着替えができなくて苦痛を感じている人もいます。

特に、心の性とからだの性の不一致に悩む子どもは、トイレや更衣室のことで毎日悩んでいます。周囲の大人たちが、子どものSOSに、早く気付いて、サポートしてあげましょう。



履歴書・服装・大学入学

履歴書をはじめ、さまざまな書類には、「男・女」という性別欄があり、どちらかに○（マル）を付けなければなりません。性的少数者の人たちは、そのようなことにも苦しんでいます。

また、からだの性に合わせた服を着るように求められることにも、とても苦痛を感じています。

香川県では、令和2年度の県立中学校、公立高校及び県立特別支援学校の入学選抜から、入学願書の性別欄を削除しています。

また、お茶の水女子大学や奈良女子大学では、令和2年度からトランスジェンダーの学生（戸籍上男性であっても性自認が女性である学生）を受け入れています。



香川県・香川県人権啓発推進会議パンフレットより